

水辺のごみ見つけ！ 実施方法（実施マニュアル）

1. 事前準備

- ・大量のごみの回収が見込まれる場合は、その処理方法について事前に自治体にご相談ください。（多くの自治体の場合、ボランティアが回収したごみについては、自治体の協力をいただくことができます）
- ・大勢で調査実施する場合、拾いながら記録していく場合など、報告シートを必要部数ご用意ください。（各人1枚または数名で1枚記載できるように）

2. 当日

- ・水辺で、調査3項目（飲料ペットボトル、レジ袋、カップ型飲料容器）のごみをそれぞれ別の袋に入れて回収し、最後にまとめて数えて記録してください。
※大量にごみがある場合は、汚れたごみを最後に数えるのは大変なので、数えながらごみ袋に入れていくことを推奨します。その際には、数名で1枚の「報告シート」を用意し、拾いながら順次記録します。
※ペットボトルが大量の場合は、標準的な袋の本数をサンプルとして数え、1袋当たりの本数×袋数の概算算出でも構いません。サンプルは全体の1割程度の袋で調査ください。（2022年度より）
- ・調査の範囲は任意ですが、調査した水辺の長さをご報告ください（奥行は報告不要）。
- ・回収したごみは、自治体のルールに従い、各団体で適切に処理願います。
- ・回収しないでカウントする場合には、複数人で重複して数えないようご配慮ください。

活動後に、調査参加の皆さんと、「何でこのごみがあるの？」「このごみを無くすにはどうすれば良いの？」などを話し合ってみましょう！

【報告シート】

3. 実施後 — 報告 —

- ・グループでの調査結果を集計します。
- ・パソコンやスマホから報告フォームに直接入力する（右図イメージ）、または「報告シート」に記載し、事務局まで、メール添付またはFAXで報告ください。
報告シートご利用の場合は、エクセルシートもご利用ください。
 - WEB報告は、報告フォームをご利用ください（右のQRコードから。または、「水辺のごみ見つけ」で検索）
 - 「報告シート」は、チラシ裏面、または「水辺のごみ見つけ」で検索し、ダウンロードしてください。（<https://kawagomi.jp/mikke/>）。エクセルシートも同サイトからダウンロードください。
- ・活動の写真を別途添付お願いします（任意）。HP、パンフレットなどで紹介させていただくことがありますので、掲載しても良い写真の添付をお願いします。



【報告フォーム】



【WEB 報告イメージ】

調査後、月末までに報告願います。（最終締切：11月30日） 報告先アドレス：kawa53@kawagomi.jp

■ その他、注意事項

- ・水辺での調査ですので、無理をしないで、毒ヘビやスズメバチなど危険な生き物、足元などに注意しながら調査してください。
- ・水面・水中での活動以外の場合は、水の中には入らないようご注意ください。
- ・水面・水中で活動する場合は、必ずライフジャケットを着用し、安全に配慮ください。
- ・本調査として、事務局でボランティア保険等の傷害保険に加入していません。

水辺のごみは、放置され堆積すると、水辺の動植物の生育を阻害します。水辺で拾われずに外洋に流れ出たごみは、ウミガメ、水鳥など海の生き物へ悪影響を及ぼします。紫外線や水流などで破片化したプラスチックごみは、有害な汚染物質を吸着したり、生き物にも取り込まれています。やがては人への影響が生じるのではないかと懸念されています。